

トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム 第17期学内募集説明

以下資料を手元にご準備のうえ、ご覧ください。

※本スライドとともに、SPIRIT奨学金ページに掲載しています。

-
- ① 2025年度(第17期)派遣留学生募集要項
 - ② 学内募集要項
 - ③ 学内申請書類
 - ④ 応募書類事前準備シート
 - ⑤ 教員推薦書

説明の流れ

1. トビタテ！留学JAPANとは
2. 申請手続きの流れと注意事項
3. 留学計画の立て方
4. よくある質問
5. 問合せ先について

1. トビタテ！留学JAPANとは

※17期募集要項等にて、
必ず詳細をご確認ください。

トビタテ！留学JAPAN日本代表 プログラムとは？

政府だけではなく官民協働のもと
社会総掛かりで取り組む「海外留学支援制度」

**奨学金等の支給だけでなく、企業等も参画する選考や
事前・事後研修、派遣留学生ネットワークの構築を図り、
社会に求められるグローバル人材を輩出する枠組みを創出**

1. トビタテ！留学JAPANとは

※17期募集要項等にて、
必ず詳細をご確認ください。

トビタテ！留学JAPAN日本代表 プログラムの5つの特徴

POINT1 多様な活動を支援

交換留学など単位取得を前提としたアカデミックな留学だけでなく、インターンシップやボランティア、フィールドワークなど、学校に行かない多様な活動を支援します。
※語学学習のみの留学は対象外です。

POINT2 留学プランを自分で設計

学生が自ら定めた明確な目標実現のために「実践活動」が含まれる留学計画を28日間から1年以内で自由に組み立てることができます。

1. トビタテ！留学JAPANとは

※17期募集要項等にて、
必ず詳細をご確認ください。

トビタテ！留学JAPAN日本代表 プログラムの5つの特徴

POINT3 留学事前事後研修が充実

事前準備と事後フォローをしっかりと行うことで、留学における効果を最大限引き出すことができます。

POINT4 グローバル人材育成コミュニティ

全国から選ばれた歴代の派遣留学生や支援企業の方々と交流する機会のある「トビタテ！留学JAPAN」独自のコミュニティに参加できます。

POINT5 手厚い支援

手厚い奨学金(月額6～16万円)、留学準備金(21～35万円)、授業料(一律30万円)などが給付されます。返金の必要はありません。

トビタテ生として求められる役割

留学前

- ・ Global Leader
- ・ 留学を通じて最大限に成長し、将来の「グローバルリーダー」を目指す。

留学中

- ・ Ambassador
- ・ 留学期間中は「日本のアンバサダー（大使）」として日本の良さを発信する。

帰国後

- ・ Evangelist
- ・ 留学生増加のため「留学のエヴァンジェリスト（伝道師）」として活動する。

採用者は責任を持って役割を遂行することが求められています。

1. トビタテ！留学JAPANとは

参考ホームページ

トビタテ！留学JAPAN 公式ホームページ

<https://tobitate.mext.go.jp/new>



2. 申請手続きの流れと注意事項

**締切
厳守**

学内申請の流れ

手続	対象	流れ	期間
I. 学内申請書類提出 (紙書類)	申請者 全員	申請者が学生課窓口提出	<u>2024年12月2日(月)～2025年1月17日(金)</u> <u>窓口開室時間内</u>
II. オンライン システム入力	申請者 全員	申請者がオンラインシステムへ提出	<u>2024年12月2日(月)～</u> <u>2025年1月17日(金) 23時59分まで</u>
III. 教員推薦書依頼 および提出 (データ)	申請者 全員	1) 申請者から教員へ依頼 2) 教員がオンラインフォームへ提出	<u>1) 可能な限り速やかに依頼すること</u> <u>2) 2024年12月2日(月)～</u> <u>2025年1月17日(金) 23時59分まで</u>
IV. 不備解消	申請者 該当者 のみ	1) 学生課から該当者へ連絡 2) 学生が不備解消し学生課へ提出	2025年1月下旬
V. 申請資格の承認 および家計審査結果の通知	申請者 全員	学生課から申請者全員へ通知	2025年2月下旬

学内申請後の流れ

- 書面審査結果(2025年4月下旬予定)
- 面接審査(2025年5月17日(土)、18日(日)@東京)
- 採否結果(2025年6月下旬予定)
- 壮行会(2025年7月20日(日)@東京)
- 事前研修(以下いずれかの2日間)
 - 7月26日(土)、27日(日)予定
 - 7月30日(水)、31日(木)予定
 - 8月2日(土)、3日(日)予定
 - 8月23日(土)、24日(日)予定

2. 申請手続きの流れと注意事項

※学内募集要項等にて、
必ず詳細をご確認ください。

学内申請の注意事項 【紙書類/データ提出】

I. 学内申請書類提出(窓口or郵送)

- ①学内申請書・提出書類チェックリスト
- ②父母(大学院学生は本人と配偶者)令和6年度の課税証明書
※令和6年度の課税証明書は、令和5年分(2023年1月1日～2023年12月31日分)の収入が反映されています。
- ③課税証明書に表示されない収入を証明する書類 ※該当者のみ

II. オンラインシステム入力

- ①留学計画書
- ②アンバサダー活動及びエヴァンジェリスト活動
- ③自由記述書
- ④実績(イノベーターコースのみ)。

2. 申請手続きの流れと注意事項

※学内募集要項等にて、
必ず詳細をご確認ください。

学内申請の注意事項 【教員推薦書】

Ⅲ・教員推薦書

＜学生の手順＞

- ①SPIRIT奨学金ページ内トビタテ！留学JAPANページより「教員推薦書」をダウンロードする。
- ②学生記入欄(学生番号、氏名、所属)を入力する。
- ③SPIRIT Gmail(学生番号@rikkyo.ac.jp)から 教員に作成依頼のメールをする。

※教員に送付する資料

- ・{学内書式}「教員推薦書(excel)」
- ・{学内書式}「【学内教員推薦書用】留学計画書下書き」
- ・オンラインシステムに提出した自由記述欄の添付ファイル(PDF)
- ・オンラインシステムに提出した実績を証明する書類 ※イノベーターコースのみ

2. 申請手続きの流れと注意事項

※学内募集要項等にて、
必ず詳細をご確認ください。

学内申請の注意事項 【教員推薦書】

Ⅲ・教員推薦書

＜注意事項＞

- ・**立教大学所属の教員**に依頼してください。言語科目のみでの担当教員等ではなく、申請者の所属学部・研究科のカリキュラムを理解している、申請者の学部にも所属した教員が望ましいです。

例)ゼミ・研究室の教員、所属学部アカデミックアドバイザー※等

※アカデミックアドバイザー制度は、学生一人ひとりに対して担当者を定め、学習全般に関する助言・指導や、情報提供を学部(学科)の専任教員が行う制度です。詳しくは自分の所属する学部の「履修要項」および掲示板を確認してください。

- ・**時間に余裕を持って**依頼してください。
- ・教員推薦書は、留学計画が教育上有益な学修活動であるか判断するための、重要な参考資料です。必ず、完成させた応募書類一式に基づき、作成を依頼してください。

教員推薦書を作成いただいた以降に留学計画を修正することはできません。

学内申請の注意事項 【不備解消】

IV. 不備解消

不備・不足があった場合、大学から電話・メール等で督促を行います。また、オンラインシステムからの差戻しも行いますので、ご対応ください。

決められた期限までに不備・不足が解消しない場合には、申請取消となる場合もありますので、申請期間中は大学からの着信に注意してください(池袋キャンパス学生課 03-3985-2441・2443)。

留学計画の申請要件6つ

- ① 2025年8月1日から2026年3月31日までの間に留学が開始される計画
※留学開始とは、渡航日ではなく、留学先で活動を開始する日
- ② 留学期間が28日以上1年以内 ※3ヵ月以上推奨
(渡航および帰国にかかる期間は除く)
- ③ 受入れ機関からの受入許可を留学開始前までに得ることができる計画
例) 留学先大学、実践活動の受入機関
- ④ 在籍大学(立教大学)が教育上有益な学修活動と認める計画
⇒教員推薦書を参考に大学が判断します。

3. 留学計画の立て方

※17期募集要項等にて、
必ず詳細をご確認ください。

留学計画の申請要件6つ

⑤ 留学の目的に沿った実践活動が含まれている計画

→実践活動とは「実社会との接点」から多様な学びを得ることができる学修活動

例 インターンシップ、フィールドワーク、ボランティア、プロジェクトベースドラーニング等

× 座学や知識の蓄積型の学修のみの計画

⑥ 留学先機関所在地が、外務省「海外安全HP」上で「レベル2」以上ではない計画

→応募時点で留学先機関の所在地が「レベル2」以上であっても選考には影響なし。

留学計画開始時点および開始後に「レベル2」以上となった場合、原則奨学金支給対象外（新型コロナウイルス感染症等の状況により、速やかな帰国が困難と在籍校が判断する場合を除く）。

3. 留学計画の立て方

※17期募集要項等にて、
必ず詳細をご確認ください。

申請コースの選択

※所属学部・研究科に関わらず、留学計画の分野で選択すること

イノベーターコース 50名

自ら課題を設定し、
解決に向けて新たな知識や
技術の獲得、能力の向上を
目指す等、試行錯誤を繰り返
し、独自の構想力をもって
既存の枠組みを超えた**新た
な価値を創造しようとする**
(ゼロをイチにする) 挑戦的な
留学計画

STEAMコース 100名

※1割程度を高等専門学校生から採用予定

日本及び世界の社会
課題解決のための技
術革新や新産業創出
に貢献する**STEAM**
(Science, Technology,
Engineering, Art,
Mathematics) **領域にお
ける留学計画**

ダイバーシティコース 100名

学生の専門領域に
おける課題解決に取り
組む留学計画。ス
ポーツ、芸術、人文
学、社会科学、総
合知領域等を含む
多様な領域の留学
計画

※採用人数は募集の状況等により変動する場合があります。

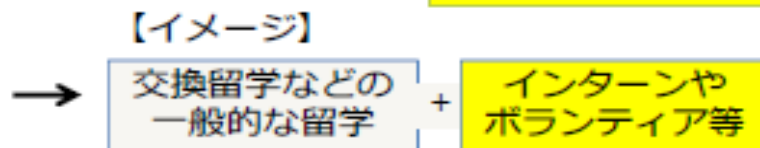
3. 留学計画の立て方

留学プランの作り方

Ex.1

前後に実践活動

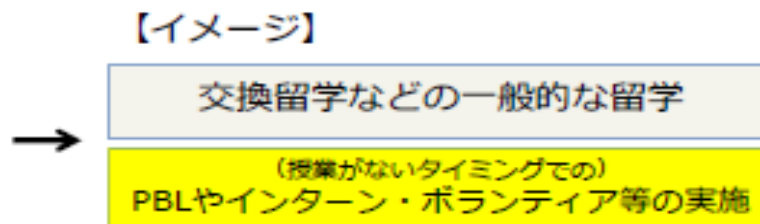
海外大学での授業受講や語学学習などの一般的な留学の後に実践的な内容を含むプログラムを活用した留学プラン



Ex.2

並行して実践活動

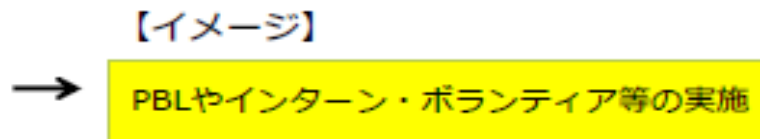
既存の留学プログラム（交換OR私費）を活用するが、自主的に企画し、関係機関に働きかけを行い、授業がないタイミングでインターンやボランティアの実施する留学プラン



Ex.3

実践活動のみ

一般的な留学ではなく、個人が企画、手配を行う留学プログラム



3. 留学計画の立て方

留学プランに求められる要素

① 大きな夢や留学への想いを、自分の言葉で！

- ・留学で何をするかは自分次第。留学を決意した背景、目的、挑戦したいことを自分のコトバで伝えよう。

② 受け身の学びではなく実践・挑戦！

- ・インターンシップやフィールドワークなど、「社会との接点」を作り、主体的かつ実践的な活動を盛り込もう。

③ ゴールを明確に！

- ・達成したい目標、実現したいアウトプットをしっかりと考え設定しよう

④ 留学経験を活かして何かを社会に還元しよう！

- ・社会にどんな影響を与えたいのか、どんな形で動かしたいのか、考えてみよう。なぜトビタテ？

⑤ プランを実行できる意欲と意志！

- ・留学プランを実現するために必要な準備やスケジュールを調査、検討、熟考しよう。そして行動！

3. 留学計画の立て方

2023年度（15期） 留学計画の例（学内合格者）

リベラルアーツ教育 × 社会貢献養育:カナダで学び、発信する

実践活動としては現地で日本ファンドレイジング協会の学生インターンとして活動することを予定している。現地の社会貢献教育の事例を協会のポータルサイトに記事として公開することによって日本国外の社会貢献教育の事例を積極的に広げていきたい。また、毎年4月に北米で開催されている社会貢献教育実践者の会合にも出席する。さらに、現地での社会貢献教育を取材し、学んだことを日本に持ち帰り、インターン活動の一環で運営しているコミュニティで実践したい。

3. 留学計画の立て方

2024年度（16期） 留学計画の例（学内合格者）

Femtech × Finance 女性の健康を促進したい！

女性の健康と未来を支えるため、Femtech × Finance（フェムテック × ファイナンス）に挑戦します。カナダでファイナンスやサステナブルビジネスを学びながら、「Iris+Arlo」や「Maven Clinic」などの企業を訪問し、ビジネスモデルを研究。Women In Bio[※]での活動を通じてグローバルなネットワークを築き、日本の市場発展に繋がるアイデアを模索。帰国後は論文執筆やインターンを通じて、フェムテックの魅力を広め、女性の生活向上を目指します。

※ボランティア活動先

3. 留学計画の立て方

16期留学計画の例（学内合格者）

優しい化粧品を作るための世界一周留学

各国でボランティア、インターン、学校に通いながら化粧品に必要な原材料の調査やその国の人たちと原料の関係性を学ぶ予定である。また原材料産地の人々とコネクションを作る目的もある。さらに、インターン先では持続可能性のあるビジネスやソーシャルビジネスを体系的に学ぶ。デンマークの学校ではパーマネントカルチャーを主に学び、農業と暮らしの関係性や、そこから発展してビジネスの関わり方も勉強する。帰国後は各国で得たことや繋がりを活かして、自分にも動物にも環境にも優しい化粧品をつくっていく計画。

3. 留学計画の立て方

採用者からのアドバイス

1. トビタテの留学計画書作成にあたって意識したこと

トビタテ留学計画書作成にあたっては、計画の将来性が特に重視されます。

計画の将来性とは、その独自性であり、計画性、社会への還元性だと思います。

いかに今まで誰も取り組んでこなかったテーマに計画性を持って取り組み、その成果を日本社会に還元するのかが非常に重要だと思います。この3点のそれぞれを突き詰めて合わせることによって独自性のある留学計画書が作成できると思います。

2. 選考全般でアドバイスしたいこと

選考全般ではとにかくパッションを持って取り組むことが重要になると思います。

2次選考で他の受験生の人たちとディスカッションをした際に、

留学計画の具体性や留学計画の魅せ方よりも留学に対するパッションに圧倒されました。

自分のテーマに対して情熱を持って取り組んでいるからこそ、どのテーマをとっても尖っていたし、

それに対する先行研究もとても高いレベルで行っていました。その場にいた全員が少なくとも自分の研究テーマに関しては誰にも負けていなかったし、それもパッションからくるものだと思います。

3. トビタテ生として採用されてよかったこと

トビタテ生として採用されてよかったことは自分のネットワークが広がったことです。

トビタテ生全員の留学テーマが「自分では絶対に思いつかないだろうな」と思えるようなものだし、全員が互いにそのような感想を持っています。それぞれのトビタテ生が持っているものを持ち寄ることで、誰もが予想しなかったプロジェクトがどんどん生まれていきます。そのプロジェクトを通じて新たな人に出会い、互いに切磋琢磨し、さらに活動を発展させていけることができるということが何よりも良かったです。

4.よくある質問

・応募や制度に関するよくある質問

トビタテ公式HP> ニュース一覧> ニュース詳細



よくある質問

・第17期生募集説明会など応募への準備お役立ち情報

トビタテ公式HP> ニュース一覧> ニュース詳細



お役立ち情報

5.問い合わせ先

前スライドを確認してもわからない場合、以下にご連絡ください。

scholarship@rikkyo.ac.jp (学生課 奨学金担当)

◎以下の要領で送信してください。

件名 トビタテ(第17期)申請相談

本文 ①学生番号 ②所属学部・学科(研究科・専攻) ③氏名

④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥問い合わせ内容

※大学の冬季休業期間(12月24日～1月7日)に問い合わせいただいた場合、
1月8日以降に回答します。

※手続き期限直前の問い合わせには対応できない場合があります。